

2025年1月 (No.427)

## 主な内容とページ

正念場の半導体、デジタル産業戦略.....	1
既存のシステムを凌駕、新たな価値を生み出す.....	2
問題噴出、国の半導体振興策.....	3
成功見込み立たないラピダス.....	4
失敗を前提とした複数戦略.....	5
本格的な産業政策の必要性.....	9
国難に対処の覚悟を.....	9
ロボットには AI よりも物体、生体(SRL だより).....	10

## 正念場の半導体、デジタル産業戦略

デジタル産業、とくに AI 革命への期待から経済成長がけん引される傾向にあるが、わが国の実態は厳しく対策が急務だ。

1. 半導体、デジタル産業政策の目玉として推進されている台湾 TSMC 誘致は順調のようだが、最先端をめざしたラピダスは巨額資金の確保の壁に突き当たっている。
2. ラピダスの今後、とくに量産では市場確保で否定的な見方が支配的。失敗を前提とした複数の方策を準備する必要があり、成功するための柔軟な取組など最大限の努力が望まれよう。
3. 今国会で関連法案が審議される見込みだが、究極わが国デジタル産業をいかに立て直し、劣勢から復帰するか、問われている。

## ロボットには AI よりも物体、生体

AI が注目を浴びているが、ロボットの場合は、AI よりも生体や物体の利用が重要という。これは、EE タイムズのポッドキャストで紹介\*された。掃除ロボット「ルンバ」の開発者を含む AI やロボットの権威の座談会の内容。生体や物体の分野では、コンピュータでは、太刀打ちできない処理が行われており、ロボットではそれらの利用が有用という。

ロボットといえば、人型、四つ足などいろいろなものが開発されているが、普及はこれから。ただし、工業用、医療用、軍事用など専門分野は、長足の進歩。戦争では、ドローンが猛威となりつつある。AI の進化は、ロボット分野に大きな影響を与えそうだが、それは物性、物理あるいは生体の仕組みや習性の考察につながる。

金属の弾性、昆虫や植物に備わっている習性や力はすばらしいものがあり、ロボットへの応用は大きな可能性をもたらす。しかし、義手でも本ものとは大きな隔たり。AI の進歩と合わせていかに魅力的な研究方法を開発、予算を引き出させるか、研究所や大学では、挑戦が続いているようだ。

(大竹 修)

\* Robots Need Physical, Not Just Artificial Intelligence EE Times 2024 年 1 月 3 日

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2025 年 著作権所有 株式会社 SRL

### SRL Monthly Report

2025 年 1 月 (毎月 1 回発行) 第 36 巻 1 号 (通巻 427 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2025

### SRL Monthly Report

January 2025, No.427

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円 (税込み)